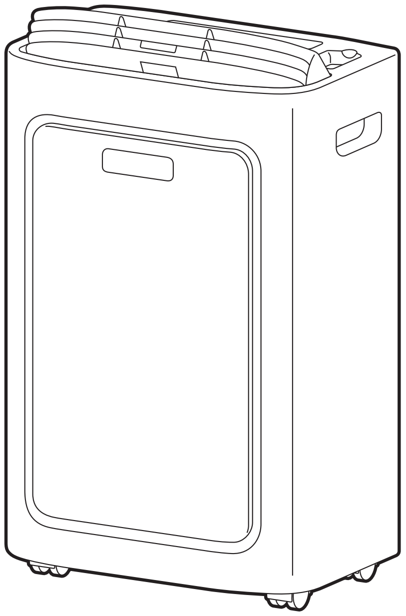
TOYOTOMI　上手に使って上手に節電

トヨトミスポットクーラー&ヒーター

型式 **TAD-22BW**
ティーエーデー　ビーダブリュー
（AC100V仕様）



HFC 採用 冷風機

この製品には、
オゾン層を破壊しない
新冷媒HFC（R410A）を
使用しています。

取扱説明書（保証書付き）

このたびは本機をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、必ずこの「取扱説明書」を読んで、正しいご使用法でご愛用くださいますようお願い申しあげます。
- この取扱説明書は、大切に保管しておいてください。
- まちがった使用をされますと、機能を充分に発揮しなかったり、故障や思わぬ事故・危険を招くことがあります。

この製品は、人を対象としたスポットクーラー&ヒーターです。それ以外の目的・用途には使用しないでください。
この製品は屋外で使用することはできません。屋内あるいは準屋内（屋根があり、直射日光や雨が当たらない場所）で使用してください。
製品が故障・変形・変色するおそれがあります。

長年ご使用のスポットクーラー&ヒーターの点検をぜひ！

愛情点検

このようなことはありませんか

- コゲくさいにおいがする。電源プラグ、コードが異常に熱い。
- 運転音が異常に高くなる。
- 水漏れがする。
- 漏電ブレーカーがひんぱんに落ちる。
- その他の異常や故障がある。

▶ 運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

株式会社トヨトミ
8288000710

目　次

安全上のご注意（よく読んで必ずお守りください）

●お使いになる人や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全に正しく使用するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
●ここに示した表示は、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険(DANGER)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告(WARNING)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意(CAUTION)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容を、次の絵表示で区分しています。

🚫	この絵表示は、「禁止」されている内容です。	❗	この絵表示は、必ずしていただく「指示」内容です。

●説明文中の**「お願い」「お知らせ」**事項は、本機を誤りなく正しくお使いいただくための内容が記載されています。

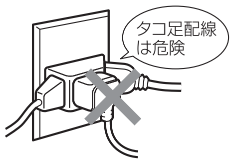
⚠危険（DANGER）

●**異常時（こげくさい等）は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店にご相談ください。**
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
また、長年使用された場合、経年劣化により部品に不具合がおこることがあります。
その状態で使用を続けますと、事故になるおそれがあります。
定期的に点検を依頼してください。

電源プラグを抜く

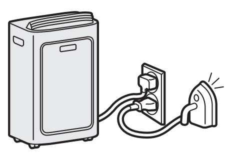
⚠警告（WARNING）

●**電源コードは、途中で接続したり延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしない。**
屋内配線（壁の中の配線）の電気容量が許容量を超え、火災や感電や電源プラグの発熱の原因になります。



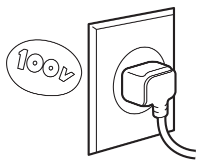
禁止

●**屋内の壁コンセントで2口以上になっていても単独で使用する。交流100V12A以上のコンセントか確認する。また、他の電気器具の電源プラグは同じコンセントに差し込み使用しない。**
屋内配線（壁の中の配線）の電気容量が許容量を超え、火災や感電、電源プラグの発熱の原因になります。



禁止

●**電源は交流100V以外で使用しない。**
100V以外の電源を使うと、電気部品が過熱したり、火災・感電の原因になります。



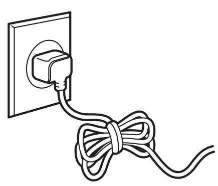
禁止

●**電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように刃の根元まで確実に差し込む。**
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。電源プラグにたまったほこりなどは定期的に掃除をしてください。



確認

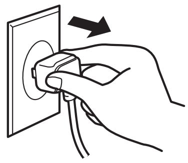
●**電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない。傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたりしない。また、ふすまやドアに挟まない。使用中は、結束バンドや針金などで束ねたりしない。**
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。



禁止

⚠警告（WARNING）

●**電源プラグを抜いて本機の停止をしない。**
感電や火災の原因になります。



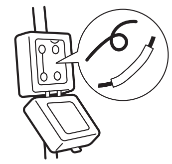

●**空気の吹出口や給気口、排気口に指や棒などの異物を入れない。**
内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になります。




●**包装用ポリ袋は幼児の手の届かないところに保管する。**
誤ってかぶったとき窒息し、死亡の原因になります。




●**安全器のヒューズの代わりに針金や銅線などを使わない。**
故障や火災の原因になります。




●**可燃性ガスの漏れるおそれのある場所や、導電性粉塵のある場所では使用しない。**
万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると、発火の原因になることがあります。

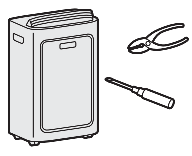




●**落雷のおそれのあるときは、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く。**
落雷の程度によっては、故障の原因になります。



●**改造はしない。また修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理・改造をおこなわない。**
火災・感電・けがの原因になります。




●**修理は、お買い求めの販売店または、****P29の お客様相談窓口一覧 に****相談する。**
ご自分で修理をされ、修理に不備があると、感電・火災等の原因になります。

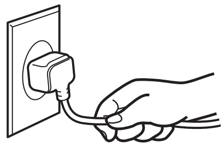
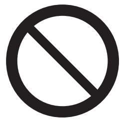


⚠注意（CAUTION）

●アースを確実におこなう。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。
アース工事は、電気工事士の資格が必要です。
お買い求めの販売店または専門業者に依頼してください。


アース

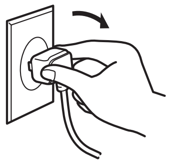
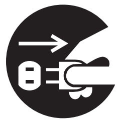
●電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持って抜く。
コードを引っ張って抜くと、コードの内部が断線して発熱・発火の原因になることがあります。



禁止

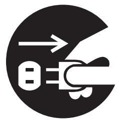
●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しない。
電源コードや電源プラグが異常に発熱し、溶けたり変形して、感電・ショート・発火の原因になります。また、コンセントの差し込みがゆるいと感じた時は工事業者に依頼してコンセントを取り替えてください。コンセントを交換しても異常に発熱している場合は販売店に修理依頼してください。


確認

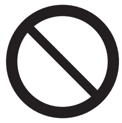
●手入れ・掃除をするときは、必ず運転ボタンを押して運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く。
内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になることがあります。また、感電のおそれがあります。



電源プラグを抜く

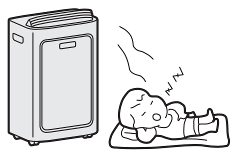
●長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。
ほこりが溜まって発熱・発火の原因になることがあります。


電源プラグを抜く

●本機を使用する場所は、振動のない、水平でしっかりした床面で使用する。
予期せぬ移動や転倒、故障の原因や、水漏れの原因にもなります。

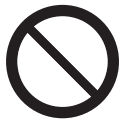


禁止

●長時間、風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎたり、暖め過ぎたりしない。
体調悪化・健康障害の原因になります。
特に乳幼児やお年寄り、身体の不自由な方にはご注意ください。

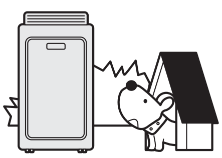
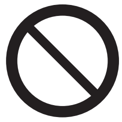


禁止

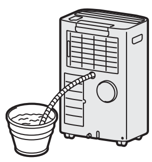
●火花が飛び散るおそれのある場所での使用は火花よけを使用する。
火花よけがないと内部に火花が入り発火する原因になります。


禁止

●屋外で使用しない。
機器の劣化により、故障や火災の原因になります。



禁止

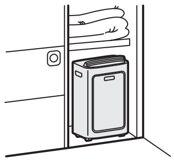
●容器に連続排水してドレン水をためるときは、容器のドレン水量をこまめに確認する。
ドレン水があふれて床を濡らす原因になります。



確認

注意（CAUTION）

●**押し入れなどせまい場所では、使用しない。**
故障の原因になります。



禁止

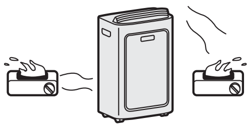
●**テレビやラジオなどAV機器から1.5m以上離して使用する。**
映像の乱れや雑音が入ることがあります。

指示

●**加工油、防錆油、有機溶剤の雰囲気内で使用しない。**
機器を痛めたり、発煙・発火・漏電の原因となります。

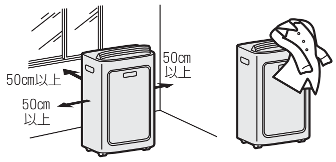
指示

●**燃焼器具に直接風をあてない。**
本機は運転時に上面と背面より風が出ます。
燃焼器具等は直接風をあてますと不完全燃焼による一酸化炭素中毒などの原因になることがあります。



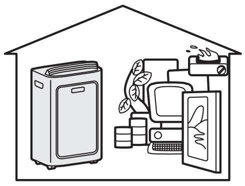
禁止

●**吹出口や排気口の風をさえぎったり、給気口をふさいだりしない。**
製品に無理がかかって、故障の原因になります。



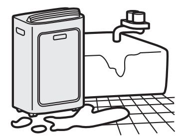
禁止

●**本機は、一般家庭の人を対象とした除湿・冷温風機ですので、食品・動物・植物・精密機器・美術品・コンピュータールーム・医薬品等の保存など、特殊用途には使用しない。**
本機自体並びにこれらの品質低下の原因になることがあります。



禁止

●**本機に水をかけたり、水のかかり易い場所（浴室・屋外など）に置いたりしない。また、上に花瓶など水の入った容器をのせない。**
倒れて水がこぼれるなど、内部に浸水して電気絶縁が劣化し、ショート・感電のおそれがあります。



水ぬれ禁止

●**本機の上に乗ったり、物をのせたりしない。**
転倒などにより、けがの原因になることがあります。



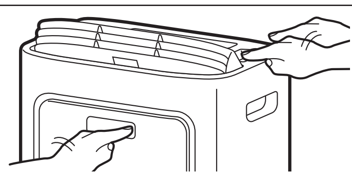
禁止

●**濡れた手でスイッチを操作しない。**
感電の原因になることがあります。



禁止

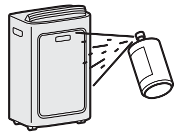
●**むやみにボタンを押さない。**
故障の原因になります。



禁止

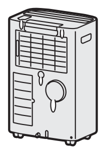
⚠注意（CAUTION）

●殺虫剤などを吹きつけない。
変色やひび割れの原因になります。



禁止

●湿度が高いとき、運転をすると、製品表面や排気ダクトなどに露が着き、床に落ちる場合があります。ふきとってください。

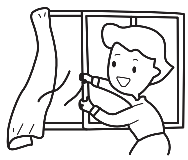


確認

●本機を移動するときは、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜き、内部の水を捨ててからおこなう。
水がこぼれて床を汚すことがあります。

確認

●部屋を閉め切ったり排気ダクトを取り付けて使用する場合、燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気する。
換気が不充分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。



確認

●排気ダクトを窓パネルに取り付けて使用する場合、雨降りや風の強いときは、運転を停止して窓を閉める。
室内を雨水で汚すことがあります。

指示

●著しく金属や樹脂を腐食させるガスや蒸気のある場所、オイルミストが発生する場所や、油が飛び散る場所では使用しない。
機器を痛めたり、発煙・発火・漏電の原因となります。

禁止

●排気ダクトを持って移動しない。
転倒などによりけがの原因になります。

指示

●本機を水洗いしない。
ショート・感電の原因になることがあります。



水ぬれ禁止

●本体内部の熱交換器（蒸発器・凝縮器）には手をふれない。手や指を切ることがあります。
掃除など、やむを得ず手をふれる場合は、必ず手袋をはめて、手や指を切らないように注意しておこなってください。

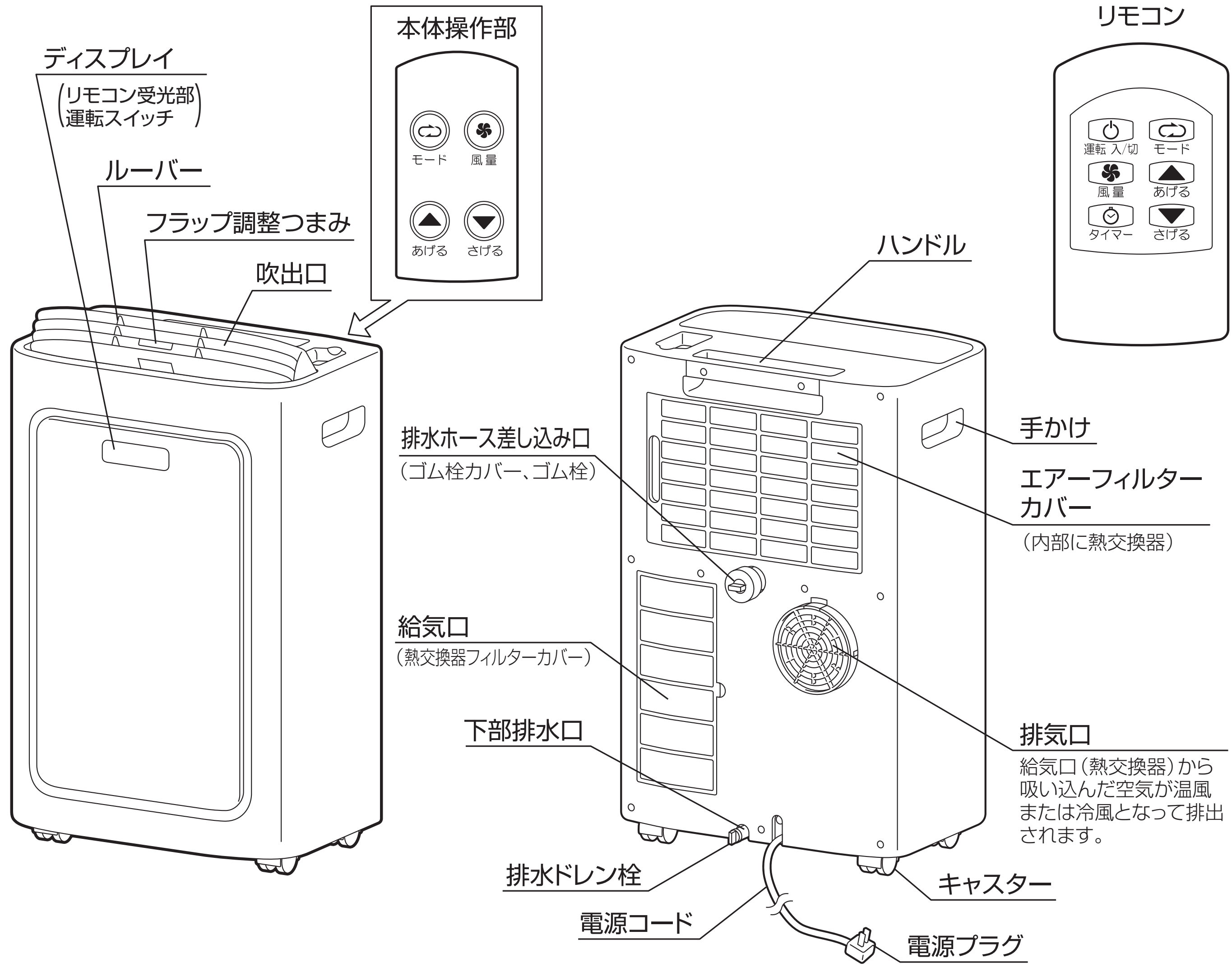


禁止

●熱交換器（蒸発器・凝縮器）の洗浄には専門技術が必要ですので、お買い求めの販売店にご相談ください。
市販の洗浄剤などを使用しますと、樹脂部品の割れや排水経路の詰まりに至ることがあり、水もれや感電の原因にもなります。

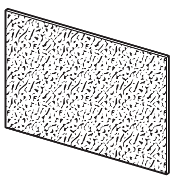
禁止

各部のなまえとはたらき

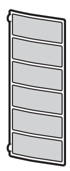


付 属 品

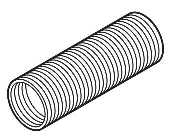
本体取付部品



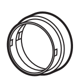
活性炭フィルター（1枚）
室内の空気を吸い込み、
ニオイを吸着します。
（交換の目安は3ヵ月です）



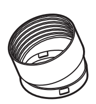
熱交換器フィルターカバー
（給気口に取り付けてあります。）



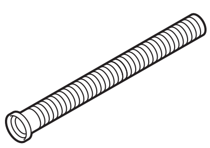
排気ダクト（1本）



ダクトエンドS（1個）

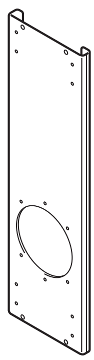


ダクトエンド（1個）



排水ホース（1本）
（水もれ防止用のホースパッキン付き）

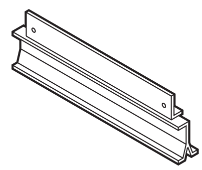
窓パネルセット



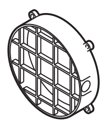
窓パネルA
（1本）



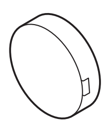
窓パネルB
（1本）



上下レール（2個）



排気口（1個）



キャップ（1個）

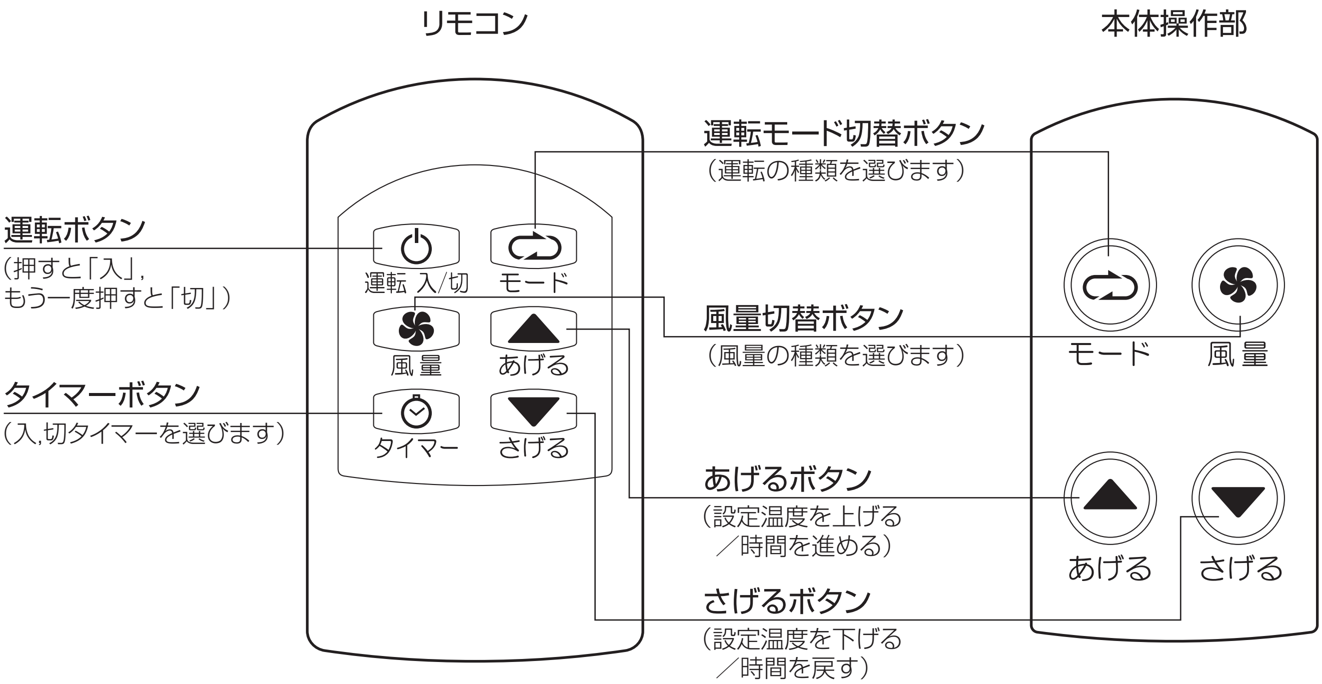


固定ねじ（長）（8本）

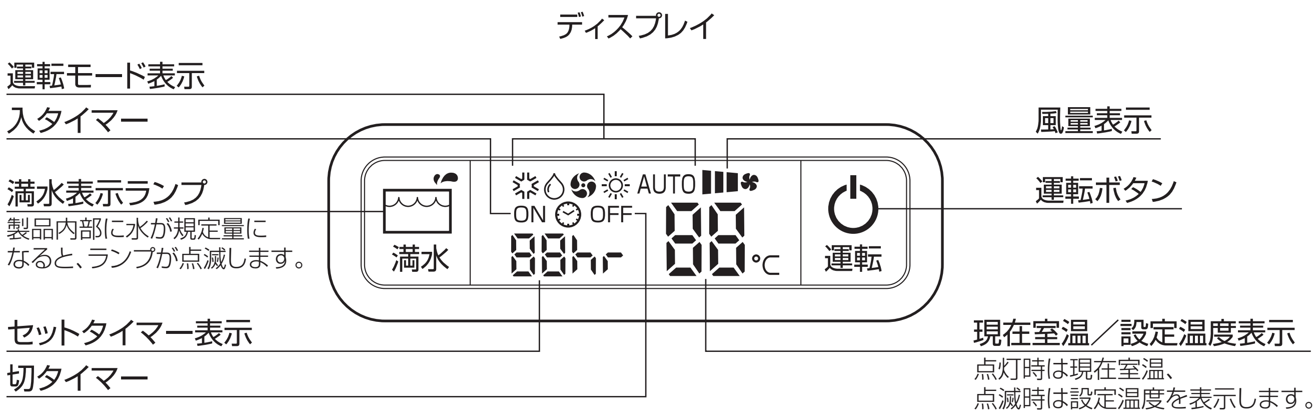


固定ねじ（短）（2本）

操作部のなまえとはたらき



ディスプレイの表示



運転モード表示

AUTO	自動運転		ドライ運転		温風運転
	冷風運転		送風運転		

風量表示

AUTO	自動風	現在の室温と設定温度の温度差により**「強」・「弱」・「微」風**の中から自動的に設定されます。
	強　風	強風量で運転します。
	弱　風	静かな運転をします。
	微　風	風量をおさえ、より静かな運転をします。

運転前の準備と確認

⚠警告

●電源コードは、途中で接続したり延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしない。
屋内配線（壁の中の配線）の電気容量が許容量を超え、火災や感電や電源プラグの発熱の原因になります。

禁止

●屋内の壁コンセントで2口以上になっていても単独で使用する。交流100V12A以上のコンセントか確認する。また、他の電気器具の電源プラグは同じコンセントに差し込み使用しない。
屋内配線（壁の中の配線）の電気容量が許容量を超え、火災や感電、電源プラグの発熱の原因になります。

禁止

●電源は交流100V以外で使用しない。
100V以外の電源を使うと、電気部品が過熱したり、火災・感電の原因になります。

禁止

●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように刃の根元まで確実に差し込む。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。電源プラグにたまったほこりなどは定期的に掃除をしてください。

確認

●電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない。傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたりしない。また、ふすまやドアに挟まない。使用中は、結束バンドや針金などで束ねたりしない。
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

⚠注意

●アースを確実におこなう。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。
アース工事は、電気工事士の資格が必要です。
お買い求めの販売店または専門業者に依頼してください。

アース

●電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持って抜く。
コードを引っ張って抜くと、コードの内部が断線して発熱・発火の原因になることがあります。

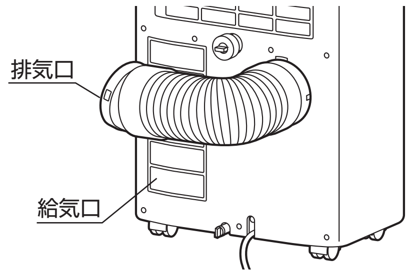
禁止

●本機を移動するときは、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜き、内部の水を捨ててからおこなう。
水がこぼれて床を汚すことがあります。

確認

⚠注意

●排気ダクトの排気口を給気口に向き合わせない。
排気された温風（または冷風）が給気口から吸い込まれると、能力低下したり、故障の原因になります。



禁止

●排水の状態をこまめに確認する。
容器の水量やホースの外れ等、水漏れをおこさないよう確認してください。

確認

お願い

製品は重量がありますので、けがをしないよう必ず2人以上でおこなってください。
冷風運転時、ドライ運転時に連続排水で使用される時、この取り付けをしてください。

お知らせ

●リモコンはていねいに扱ってください。落としたり水がかかったりすると、送信できなくなることがあります。
●リモコンの受信距離は正面で7m以下です。室内に電子点灯形（インバータ形）の照明器具がある場合は、受信距離が短くなることがあります。
●リモコンに入れる乾電池は、マンガン乾電池でもご使用できますが、アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。
●リモコン操作をしても作動しない場合、またはディスプレイ表示が出ていても作動しない場合は新しい乾電池に2本とも交換してください。このとき動作が正常でない場合は、乾電池を抜き取り5秒以上経過してから、再度セットし直してください。
●乾電池の寿命は通常の使い方で約1年です。ただし、乾電池の「使用推奨期限」に近いものは、乾電池の交換が早くなります。
●乾電池を誤って使うと、液漏れや破裂の危険があります。乾電池の注意文をよく読み、次の点に特に注意してご使用ください。
万一液漏れしたときは、よく拭き取ってから、新しい乾電池を入れてください。
•新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
•長期間（1カ月以上）使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。

1 製品を取り出します。

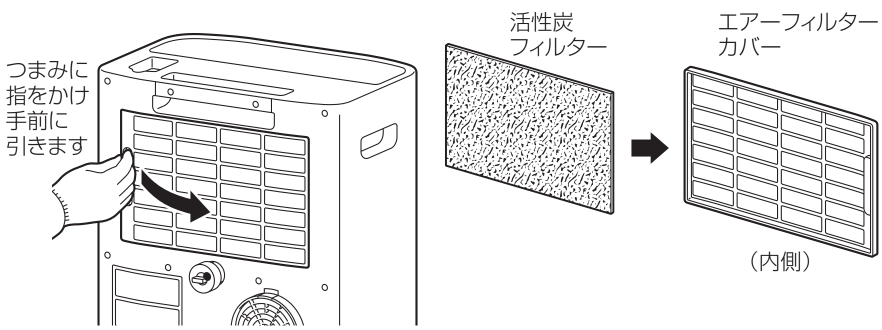
●包装箱からすべての包装材を取り除き、製品に傷をつけないように取り出してください。
同時に付属品や取扱説明書も取り出してください。
●包装箱や包装材は保管するときにご利用ください。

2 水平の確認をする。

●製品は振動のない、水平でしっかりした床面に設置してください。
製品が、傾いていないか、不安定な状態になっていないか、必ず確かめてください。
製品を傾いた状態で使用しますと、ドレン水があふれ出たり、振動音が出たり転倒しやすくなります。

3 活性炭フィルターを取り付ける。

●エアーフィルターカバーを取りはずして、その内側に活性炭フィルターを取り付けてください。



4 排気ダクトを取り付ける。

●排気ダクトは排気口に取り付けてご使用ください。
取り付けずにご使用されますと排気の一部が給気に戻り能力が低下することがあります。

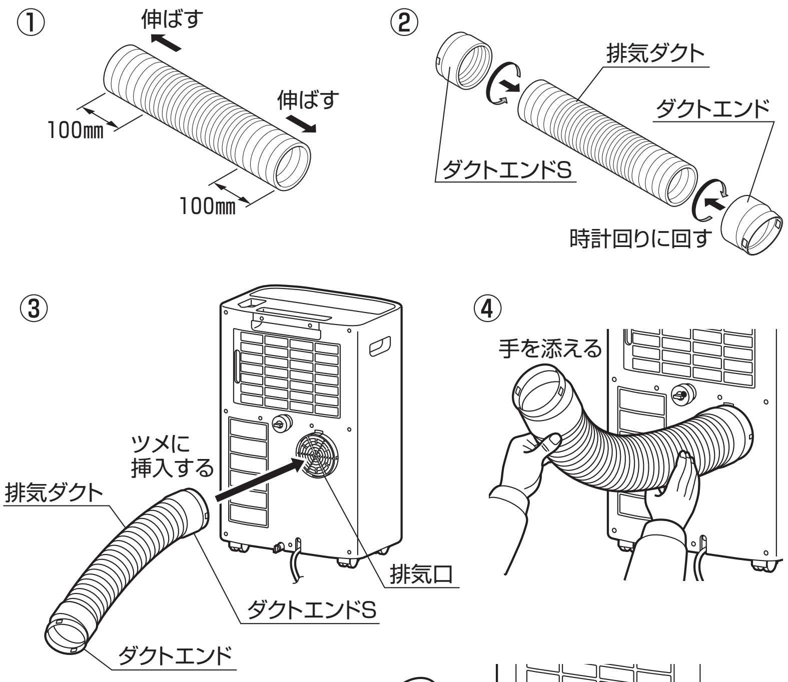
●排気ダクト内には金属ワイヤーの芯があります。取り扱い時、けがをしないようご注意ください。

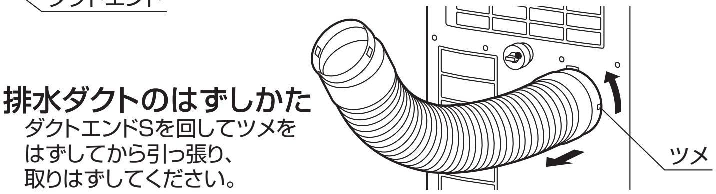
①排気ダクトの両端を100㎜程度伸ばしてください。

②ダクトエンド、ダクトエンドSを排気ダクトに挿入し、止まるところまで時計回りに回して固定してください。

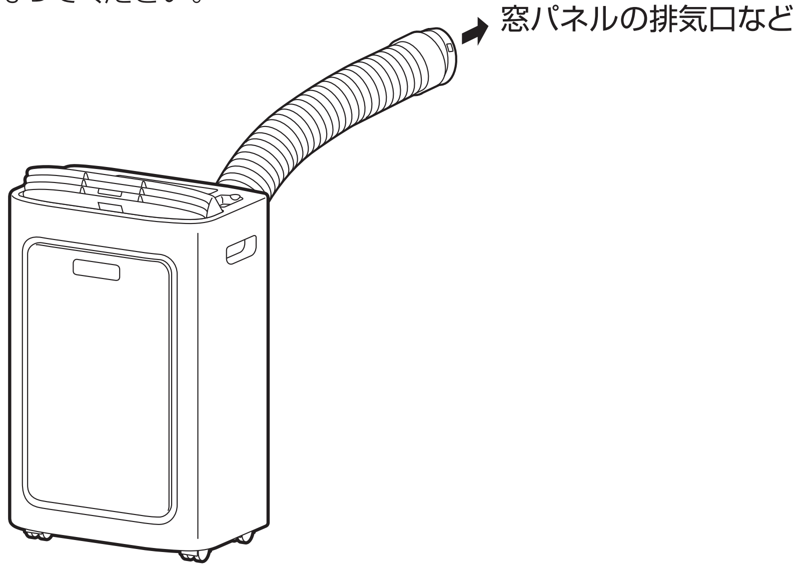
③製品の排気口のツメに、組み合わせた排気ダクトとダクトエンドSを挿入し固定してください。

④排気ダクトを適当な長さに伸ばします。排気ダクトを調整するときは、排気ダクトの根元に力がかからないように、必ず手を添えておこなってください。

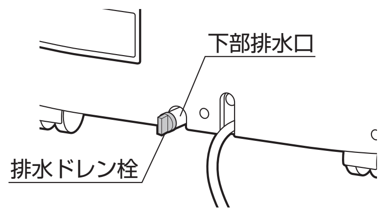




【完成図】



5 排水ドレン栓が確実に下部排水口に差し込まれていることを確認する。

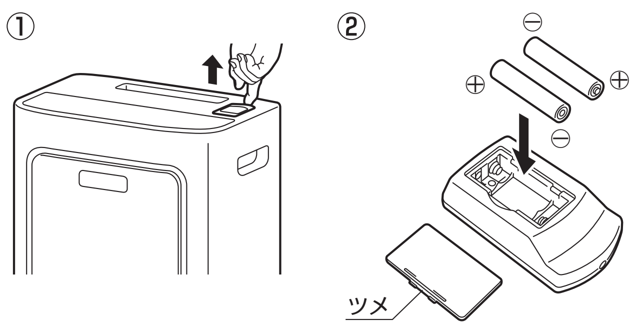


6 リモコンの準備をする。

①リモコンの上側のくぼみに指を入れ、手前にリモコンを取り出します。

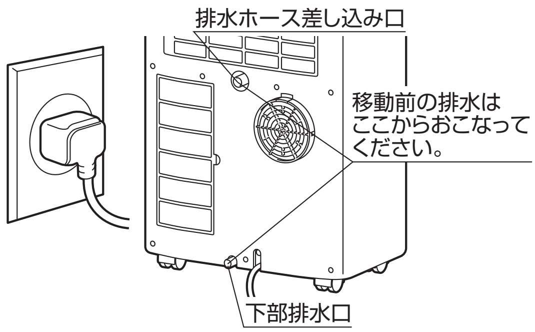
②リモコンの裏ぶたのツメを引いて取りはずし、⊕⊖を間違えないように、乾電池を入れてください。

※乾電池は別売です。単4乾電池2本が必要です。



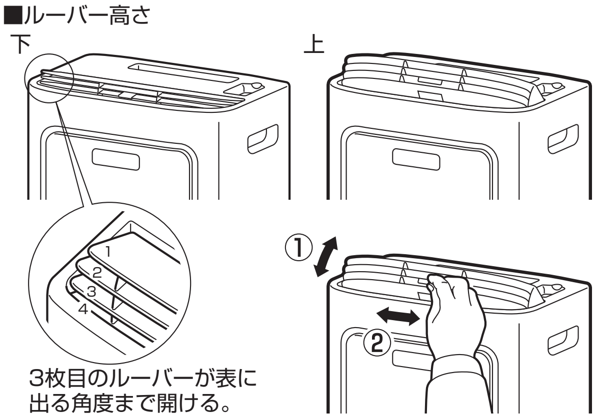
7 電源プラグを家庭用交流100V12A以上のコンセントに確実に差し込む。

●移動させるときは、必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、排水ホース差し込み口と下部排水口からドレン水を捨ててからおこなってください。抜いたゴム栓、ゴム栓カバー、排水ドレン栓は元通りに取り付けてください。
●コンセントの差し込みがゆるいときは、交換してください。電源プラグの発熱・発火の原因になります。



8 ルーバーを開ける。

●製品の上面部にあるルーバーを開ける。
●ルーバーを閉じて使用すると、製品の表面や内部が結露し、床を汚すことがあります。
①ルーバーの高さ調節は、お好みの高さにルーバーを持ち上げ調節することができます。
②左右の風向調節はルーバー内のフラップ調整つまみを左右に動かし、調節することができます。



排水ホースの取り付け

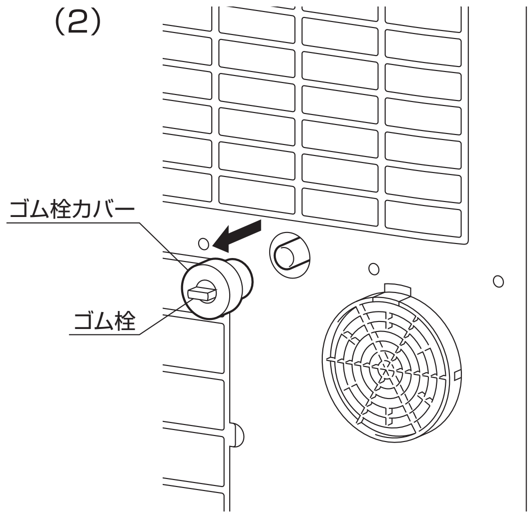
お願い	冷風運転時、ドライ運転時に連続排水で使用される時、この取り付けをしてください。

(1) 付属品の排水ホースを準備します。

(2) 背面にあるゴム栓カバーを取りはずし、ゴム栓をはずします。

●運転した後にゴム栓をはずすと中に残っている水がこぼれるおそれがあります。

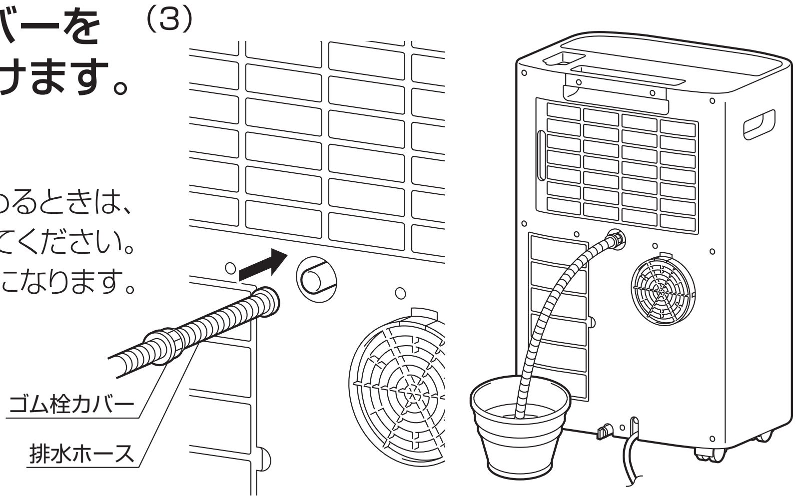
(2)



(3) 排水ホースに、ゴム栓カバーをはめて製品に再び取り付けます。

●はずしたゴム栓は使用しません。大切に保管してください。
●容器に連続排水してドレン水をためるときは、容器のドレン水量をこまめに確認してください。ドレン水があふれて床を濡らす原因になります。

(3)



窓パネルセットの取付け方法

⚠警告

⚠警告	**●取付けは、確実におこなう。** 取付けに不備があると、落下、水漏れや感電、火災の原因になります。	指示
	●窓パネルセットを取付ける場所は重量に充分耐える所に確実におこなう。また、強い力を加えない。 強度不足や取付けが不完全な場合は、窓パネルセットの落下により、ケガの原因になります。	指示
	●取付け部品は、必ず同梱部品及び指定の部品を使用する。 当社指定部品を使用しないと、水漏れや感電、火災の原因になります。	指示

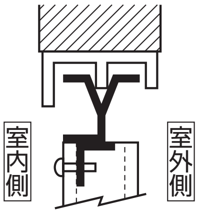
⚠注意

⚠注意	**●設置場所によっては漏電ブレーカーの取付けが必要。** 漏電ブレーカーが取付けられていないと感電の原因になることがあります。	指示
	●工場・海岸・温泉地帯など、特殊な場所で使用しない。 故障のもとになることがあります。	禁止
	●雨どいの真下はさけ、吹き下しなどにより窓から雨水が侵入しない場所に取付ける。 室内を汚すことがあります。	指示
	●製品の排気口からの温風や騒音が、隣家の迷惑にならないような場所を選ぶ。	指示
	●本体背面の近くに物を置くと機能低下や騒音増大のもとになるので、本体背面付近には障害物を置かない。	禁止
	●本体背面にある排水ドレン栓は、排水作業時以外はずさない。 水漏れします。	禁止
	●雨や風が強い時は、使用を中止し、窓パネルセットを取りはずす。	指示
	●窓サッシ固定用のカギを使用する場合は、市販のカギを購入する。外出するときは、窓を閉め、窓自体のカギをかける。	指示
	●この窓パネルは、鉄製の窓や、特殊な窓には取り付けできないことがあります。	指示
	●作業時は手ぶくろ等の保護具を着用してください。	指示

※この窓パネルは、排気ダクトと組み合わせて使用するものです。

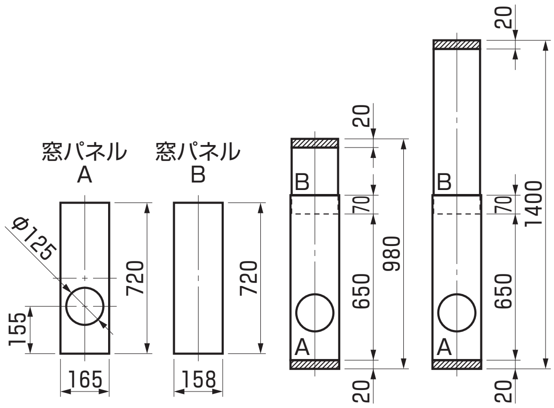
1 取り付け前の注意

①取り付ける前に、次の工具を用意してください。
　プラスドライバー、ナイフ、ノコギリ、やすり
②右図のように窓のレールをはさんでご使用ください。

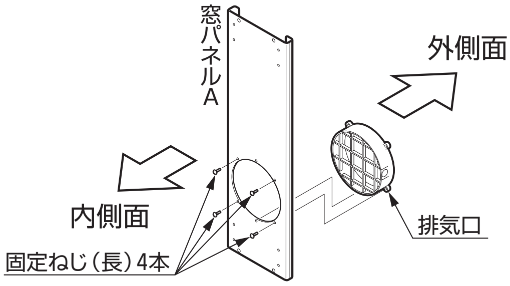


2 窓パネルの組み立てと取り付け

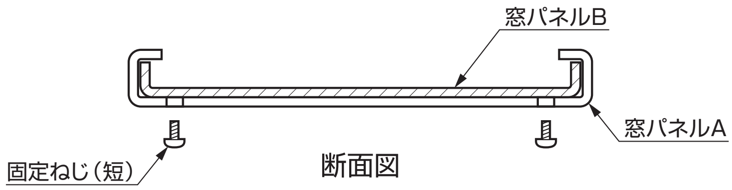
①窓パネルを取付ける前に窓の高さを測定してください。
　●780㎜～980㎜までは、取付け長さに合わせ、パネルBをノコギリ等で切断して調節します。
　この時必ず2枚の窓パネルが70㎜以上重なるようにしてください。
　※ノコギリ等で切断した切り口はナイフや、やすり等で仕上げてください。

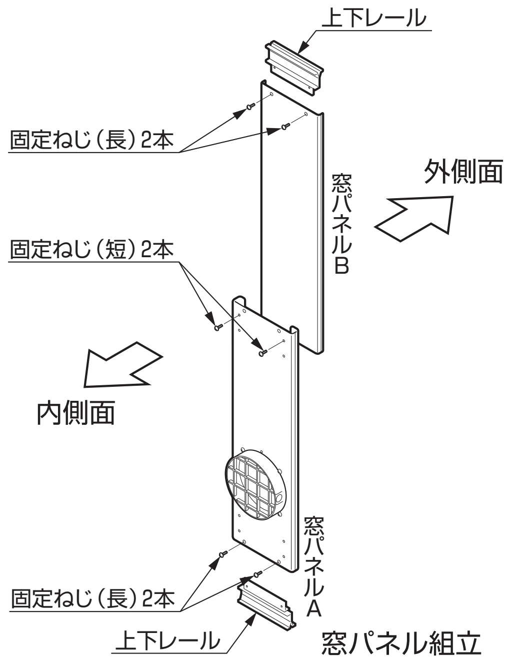


②排気口を窓パネルAの外側面からツメが左右に向くようにセットして、固定ねじ（長）4本で固定してください。

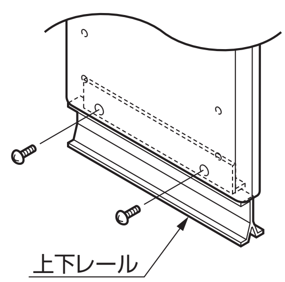


③窓パネルBを、窓パネルAに挿入してください。
　次に窓パネルA上側の穴に固定ねじ（短）の左右1本ずつ（計2本）で窓パネルBを仮止めしてください。

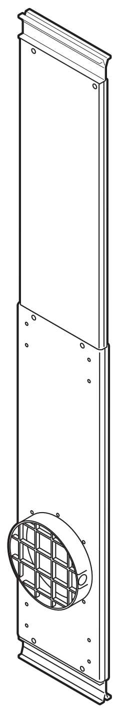




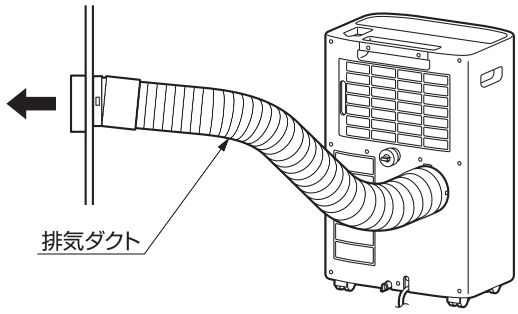
④上下レールを、組み立てた窓パネルの上端および下端に、固定ねじ（長）2本で固定してください。



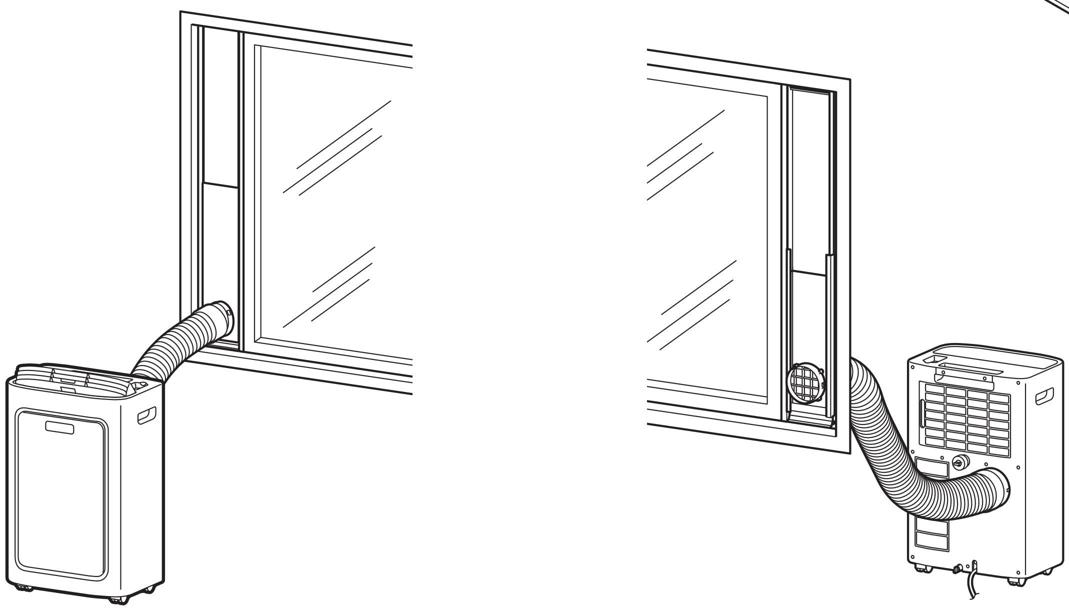
⑤窓パネル組立を、窓わくの上下のレールまたは溝に取り付けてください。
必ず窓の戸と同じレールまたは溝に取り付けてください。
③で仮止めした固定ねじ（短）の各1本ずつ（計2本）を、窓パネル組立がはずれないように固定してください。
●はずれ防止のため、必ず2枚の窓パネルが、70㎜以上重なるようにしてください。



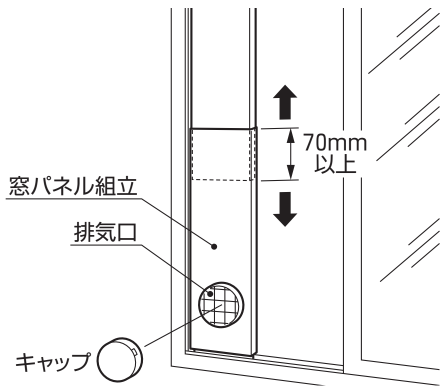
⑥製品本体の排気ダクトを窓パネルに差し込んでください。



【完成図】

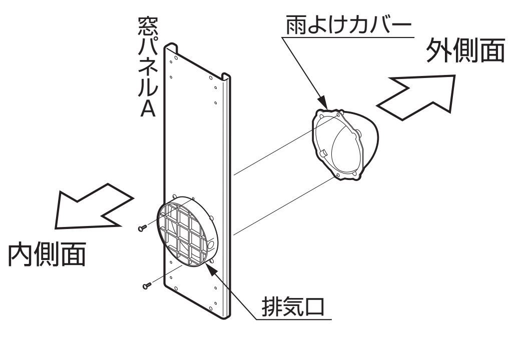


〈キャップの取り付け方〉
●排気ダクトを使用しない場合は、キャップを窓パネル組立の排気口の爪に取り付けてお使いください。
●キャップのはずしかた
キャップを回して、窓パネルの排気口の爪からはずします。



3 別売りオプション部品の取り付け

〈雨よけカバーの取り付け方〉
●排気口を固定後に、雨よけカバーを窓パネルAの外側面に開口部が下を向くようにセットして、固定ねじ（長）2本で固定してください。

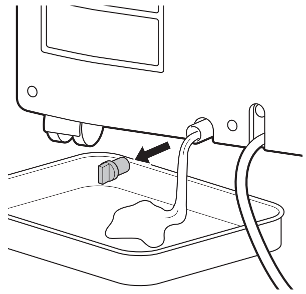


ディスプレイの運転ボタンについて	リモコンを使わずに、本体正面にあるディスプレイの「運転」ボタンで運転や停止をおこなうことができます。このとき自動運転となります。この機能は、室内温度を感知して、冷風,ドライ,温風モードに切り替わります。 運転内容がお好みに合わないときは、リモコンで運転モードを切り替えてください。

自動運転

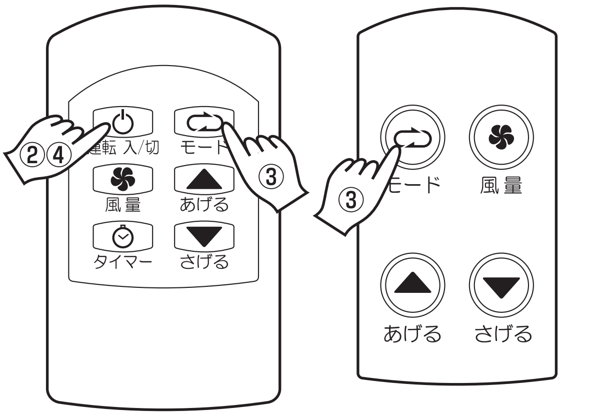
お知らせ	自動運転とは…運転を開始したときの室温によって自動で「冷風運転」「ドライ運転」「温風運転」が選択される運転モードです。 ●風量設定は自動風で固定されます。 ●自動運転中、運転の状態や温度設定がお好みに合わない時は、その他の運転モードでお好みに合った運転をおこなってください。 ●室温によってON／OFFの間欠運転となります。 ●自動運転でお好みのモードが選ばれない場合は、「運転モード切替」ボタンを押して、モードを変更してください。

排水時の注意	湿度が高い場所で運転をおこなうと、ドレン水がたまりやすくなり、満水表示ランプが点滅して停止することがあります。 満水表示ランプが点滅して停止した時は、容器を用意し排水ドレン栓を抜いて製品内に溜まったドレン水を排水してください。約700～800mℓの水が出ます。 ドレン水を抜いた後は、排水ドレン栓を元通りに差してください。排水ドレン栓を抜いたまま運転すると、床を濡らす原因になります。 または運転前に市販のホース（内径15mm）をつなげて連続排水してください。 ホースは抜けないように市販のホースクリップ等で固定してください。



① ルーバーを開ける。

〈リモコン〉　〈本体操作部〉

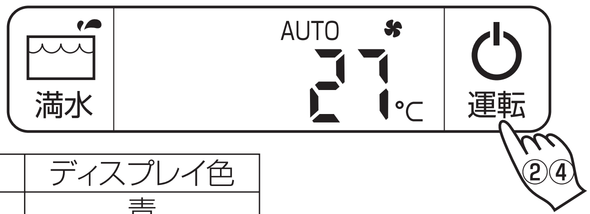


② リモコンまたはディスプレイの「運転」ボタンを一度押します。

③ リモコンまたは本体操作部の「運転モード切替」ボタンを押し「 AUTO 」（自動運転）に合わせます。

●運転モード、風量設定、ディスプレイ色は、部屋の温度に応じて下の表のように自動的に設定されます。（但しディスプレイ色及び現在室温の表示は変わりますが、その他の液晶表示は変わりません。）

〈ディスプレイ〉

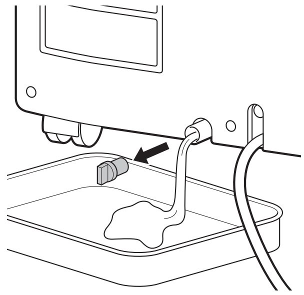


運転時の部屋の温度（目安）	運転モード	風量設定	ディスプレイ色
25℃以上	冷風	自動風	青
18℃以上、25℃未満	ドライ	自動風	青
18℃未満	温風	自動風	赤

④ 停止方法

運転中にリモコンまたはディスプレイの**「運転」**ボタンで運転を停止させることができます。
必要に応じてルーバーを閉じてください。

冷風運転

お知らせ	●お好みの温度に設定します。（最高設定温度32℃、最低設定温度16℃までです。） ●1回押すごとに1℃変化します。 ●経済的な使い方として26℃～28℃に設定することをおすすめします。 ●部屋の温度よりも低い温度にセットしてください。部屋の温度よりも高い温度にセットした場合は、冷風運転をしません。但し室内ファンは連続運転をします。 ●リモコンの**「運転」**ボタンにより再度冷風運転を再開した場合、設定温度は前回設定した温度になっていますので、適切な温度に設定し直してください。 ●冷風運転中は設定温度を維持するためにコンプレッサーがON･OFFします。
排水時の注意	湿度が高い場所で運転をおこなうと､ドレン水がたまりやすくなり､満水表示ランプが点滅して停止することがあります。 満水表示ランプが点滅して停止した時は、容器を用意し排水ドレン栓を抜いて製品内に溜まったドレン水を排水してください。約700～800mℓの水が出ます。 ドレン水を抜いた後は、排水ドレン栓を元通りに差してください。排水ドレン栓を抜いたまま運転すると、床を濡らす原因になります。 または運転前に市販のホース（内径15mm）をつなげて連続排水してください。 ホースは抜けないように市販のホースクリップ等で固定してください。 

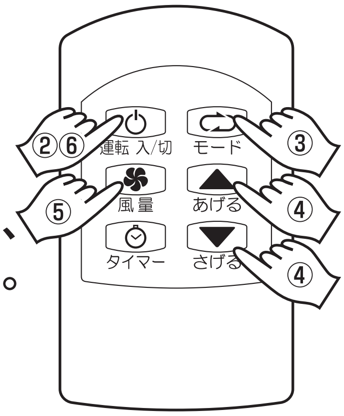
① ルーバーを開ける

② リモコンまたはディスプレイの「運転」ボタンを一度押します。

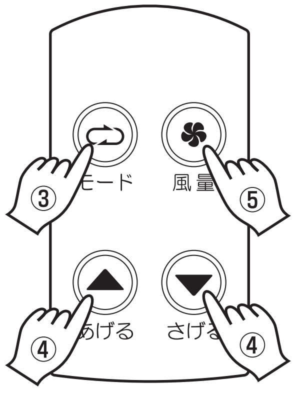
③ リモコンまたは本体操作部の「運転モード切替」ボタンを押して、「 ❄ 」（冷風運転）に合わせます。

●ディスプレイに運転モード、風量設定、現在室温が表示されます。
●ディスプレイが**青色**に点灯します。

〈リモコン〉



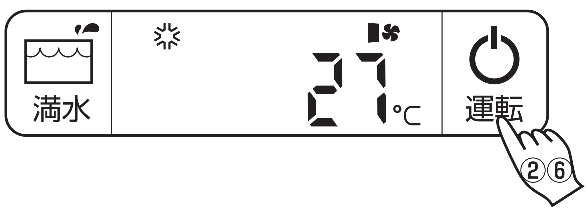
〈本体操作部〉



④ リモコンまたは本体操作部の「温度設定」の「あげる」または、「さげる」ボタンを押します。

●ボタンを押すと数字が点滅して、設定温度を表示します。ボタンを押してから数秒間押さずにいると点灯に変わり現在室温を表示します。

〈ディスプレイ〉



⑤ リモコンまたは本体操作部の「風量切替」ボタンを押して風量を選びます。

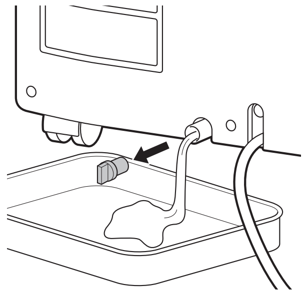
●ボタンを押すたびに AUTO → [自動風] → [強風] → [弱風] → [微風] と表示が変わります。

●風量設定が自動風の時、風量の切り替えは自動的におこないます。

⑥ 停止方法

運転中にリモコンまたはディスプレイの**「運転」**ボタンで運転を停止させることができます。
必要に応じてルーバーを閉じてください。

ドライ運転

お知らせ	●温度設定の変更はできません。 ●現在室温が25℃以下の時は、風量の変更はできません。（ただしボタンの受信音はします。） ●現在室温が25℃以下の時は、室温に応じてコンプレッサーがON･OFFします。 ●お部屋を除湿する時は、次のうちいずれかをおこなってください。おこなわないと除湿ができません。 •製品本体に排気ダクトをつなげて、排気ダクトの先端を室外に出す。 •製品本体に排気ダクトをつなげて、窓に取り付けた窓パネルにつなげる。 •製品本体に排水ホースをつなげて、連続排水する。
排水時の注意	湿度が高い場所で運転をおこなうと、ドレン水がたまりやすくなり、満水表示ランプが点滅して停止することがあります。 満水表示ランプが点滅して停止した時は、容器を用意し排水ドレン栓を抜いて製品内に溜まったドレン水を排水してください。約700～800mℓの水が出ます。 ドレン水を抜いた後は、排水ドレン栓を元通りに差してください。排水ドレン栓を抜いたまま運転すると、床を濡らす原因になります。 または運転前に市販のホース（内径15mm）をつなげて連続排水してください。 ホースは抜けないように市販のホースクリップ等で固定してください。 

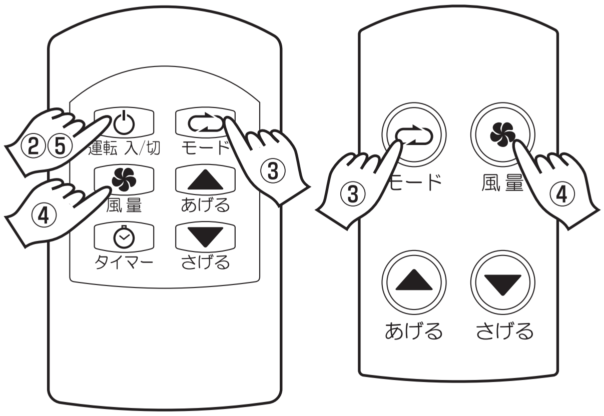
① ルーバーを開ける

② リモコンまたはディスプレイの「運転」ボタンを一度押します。

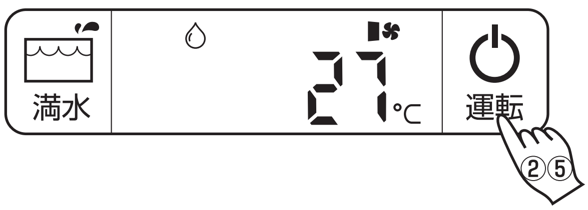
③ リモコンまたは本体操作部の「運転モード切替」ボタンを押して、「 」（ドライ運転）に合わせます。

●ディスプレイに運転モード、風量設定、現在室温が表示されます。
●ディスプレイが**青色**に点灯します。

〈リモコン〉　〈本体操作部〉



〈ディスプレイ〉



④ リモコンまたは本体操作部の「風量切替」ボタンを押して風量を選びます。

●現在室温が25℃より高い時のみ選択可能となります。
●ボタンを押すたびに
→［強風］→［弱風］→［微風］ と表示が変わります。

⑤ 停止方法

運転中にリモコンまたはディスプレイの**「運転」**ボタンで運転を停止させることができます。
必要に応じてルーバーを閉じてください。

送風運転

お知らせ	●温度設定の変更はできません。

① ルーバーを開ける

② リモコンまたはディスプレイの「運転」ボタンを一度押します。

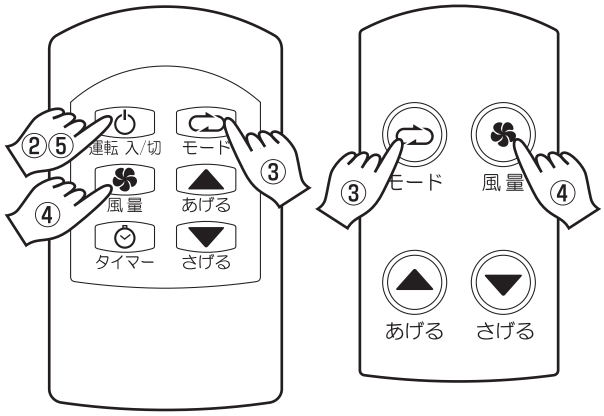
③ リモコンまたは本体操作部の「運転モード切替」ボタンを押して、「　」(送風運転)に合わせます。

●ディスプレイに運転モード、風量設定、
　現在室温が表示されます。
●ディスプレイが**青色**に点灯します。

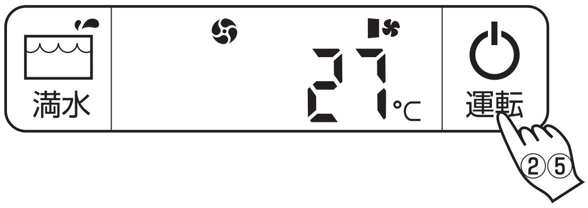
④ リモコンまたは本体操作部の「風量切替」ボタンを押して風量を選びます。

●ボタンを押すたびに
[強風]→[弱風]→[微風] と表示が変わります。

〈リモコン〉　〈本体操作部〉



〈ディスプレイ〉



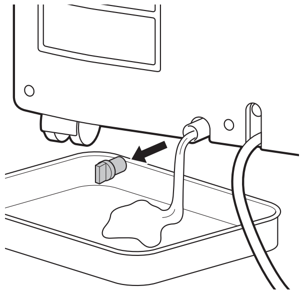
⑤ 停止方法

運転中にリモコンまたはディスプレイの**「運転」**ボタンで運転を停止させることができます。
必要に応じてルーバーを閉じてください。

温風運転

お知らせ	●お好みの温度に設定します。(最高設定温度25℃、最低設定温度16℃までです。) ●1回押すごとに1℃変化します。 ●リモコンの**「運転」**ボタンにより再度温風運転を再開した場合、設定温度は前回設定した温度になっていますので、適切な温度に設定し直してください。 ●温風運転中は設定温度を維持するためにコンプレッサー及び室内ファンがON･OFFします。 ●風量設定が自動風の時、風量の切り替えは自動的におこないます。 ●冷えた風を出さないために、運転開始または再運転開始から最初の数秒〜数分間は風が出ません。 ●充分に温まった風を出すために、運転開始後、風が出てから最初の数秒〜数分間は風量切替がおこなえません。

排水時の注意	湿度が高い場所で運転をおこなうと､ドレン水がたまりやすくなり､満水表示ランプが点滅して停止することがあります。 満水表示ランプが点滅して停止した時は、容器を用意し排水ドレン栓を抜いて製品内に溜まったドレン水を排水してください。約700〜800mℓの水が出ます。 ドレン水を抜いた後は、排水ドレン栓を元通りに差してください。排水ドレン栓を抜いたまま運転すると、床を濡らす原因になります。 または運転前に市販のホース(内径15mm)をつなげて連続排水してください。 ホースは抜けないように市販のホースクリップ等で固定してください。



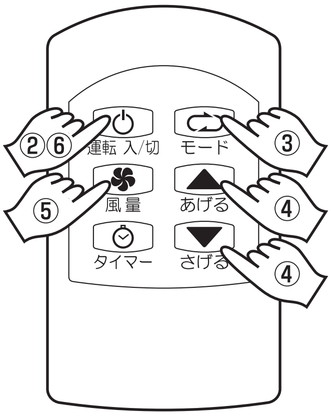
① ルーバーを開ける

② リモコンまたはディスプレイの「運転」ボタンを一度押します。

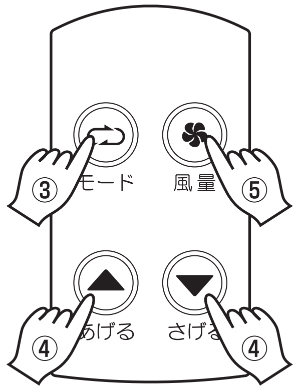
③ リモコンまたは本体操作部の「運転モード切替」ボタンを押して、「 ☼ 」(温風運転)に合わせます。

●ディスプレイに運転モード、風量設定、現在室温が表示されます。
●ディスプレイが**赤色**に点灯します。

〈リモコン〉



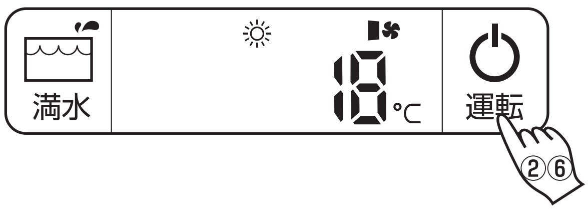
〈本体操作部〉



④ リモコンまたは本体操作部の「温度設定」の「あげる」または、「さげる」ボタンを押します。

●ボタンを押すと数字が点滅して、設定温度を表示します。ボタンを押してから数秒間押さずにいると点灯に変わり現在室温を表示します。

〈ディスプレイ〉



⑤ リモコンまたは本体操作部の「風量切替」ボタンを押して風量を選びます。

●ボタンを押すたびに AUTO → [自動風] → [強風] → [弱風] → [微風] と表示が変わります。

⑥ 停止方法

運転中にリモコンまたはディスプレイの**「運転」**ボタンで運転を停止させることができます。
必要に応じてルーバーを閉じてください。

切タイマー運転

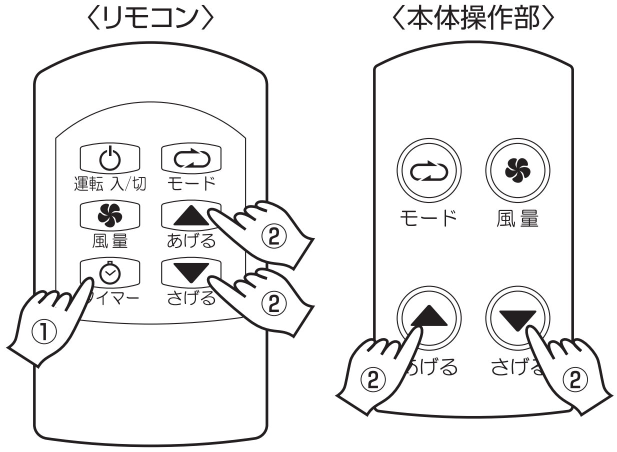
●設定した時間が経過すると自動的に運転を停止します。

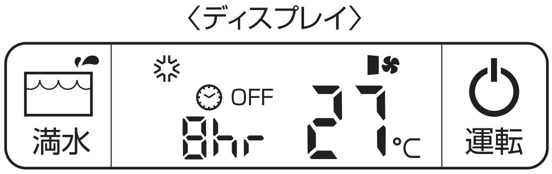
お知らせ	●「切タイマー」と「入タイマー」は同時にセットできません。 ●タイマー設定中に電源プラグを抜いた場合や停電した場合は、設定が解除されますので、初めから操作をやり直してください。 ●「切タイマー」は運転停止中では設定できませんので、運転中に「切タイマー」予約をしてください。

① 運転中に「タイマー」ボタンを押します。

② リモコンまたは本体操作部の「タイマー設定」の「あげる」または、「さげる」ボタンを押します。設定中は「⏲」表示が点滅します。

●お好みのタイマーに設定します。（最小タイマー1時間、最大タイマー12時間までです。）
●1回押すごとに1時間変化します。
〔例〕右図は8時間後に運転を停止させる時の表示です。
●「 0hr 」表示にすると、数秒後にタイマー表示が消えます。
●「 ⏲ 」表示の点滅が点灯になると、タイマー運転を開始します。
●取り消す場合は「タイマー」ボタンを押しタイマー設定を「 0hr 」にしてください。
もしくは、いったんリモコンまたは本体操作部の**「運転」**ボタンを押して運転を停止してください。
ディスプレイの「 ⏲ 」表示が消灯します。



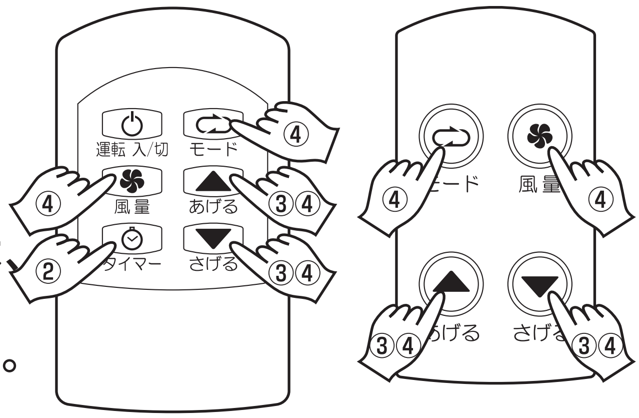


入タイマー運転

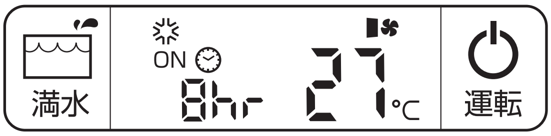
●設定した時間が経過すると自動的に運転を開始します。

お知らせ	●「入タイマー」は運転中では設定できませんので、運転を停止させてから、「入タイマー」予約をしてください。 ●「入タイマー」を設定したあとに、電源プラグを抜いたり、停電があると運転しません。

〈リモコン〉　〈本体操作部〉



〈ディスプレイ〉



① ルーバーを開ける。

② 停止中に「タイマー」ボタンを押します。

③ リモコンまたは本体操作部の「タイマー設定」の「あげる」または、「さげる」ボタンを押します。設定中は「 ⏲ 」表示が点滅します。

●お好みのタイマーに設定します。（最小タイマー1時間、最大タイマー12時間までです。）
●1回押すごとに1時間変化します。
〔例〕右図は8時間後に運転を始める時の表示です。
●「 0hr 」表示にすると、数秒後にタイマー表示が消えます。
●「 ⏲ 」表示の点滅が点灯になると、タイマー運転を開始します。
●取り消す場合は「タイマー」ボタンを押しタイマー設定を「 0hr 」にしてください。
もしくは、リモコンまたは本体操作部の**「運転」**ボタンを押していったん運転後、再度**「運転」**ボタンで運転を停止させてください。
ディスプレイの「 ⏲ 」表示が消灯します。

④ 停止中に運転モード、風量、設定温度を設定します。

●設定した内容で入タイマー運転をおこないます。

日常のお手入れ

⚠注意	●**手入れ・掃除をするときは、必ず「運転」ボタンを押して運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く。** 内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になることがあります。また、感電のおそれがあります。
	●**電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持っておこなう。** コードを引っ張って抜くとコードの内部が断線して発熱・発火の原因となることがあります。



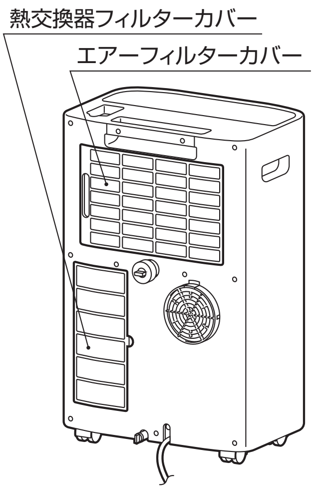


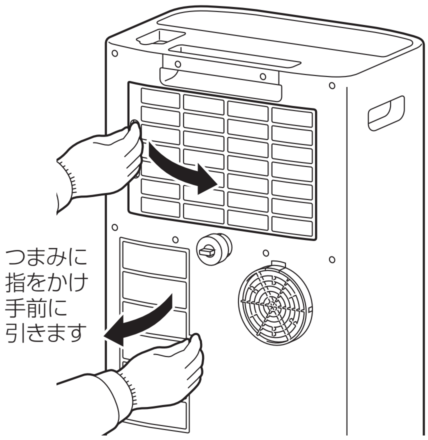
エアーフィルターカバー、熱交換器フィルターカバーの掃除

お願い	●**蒸発器のフィンで手を切らないように、必ず手袋をはめておこなってください。** ●**エアーフィルターカバー、熱交換器フィルターカバーをはずしたまま使用しないでください。** **熱交換器が露出し、けがの原因になります。また、機械部にほこりが入り、故障の原因になります。** ●**40℃以上のお湯で洗わないでください。** フィルターが縮むことがあります。

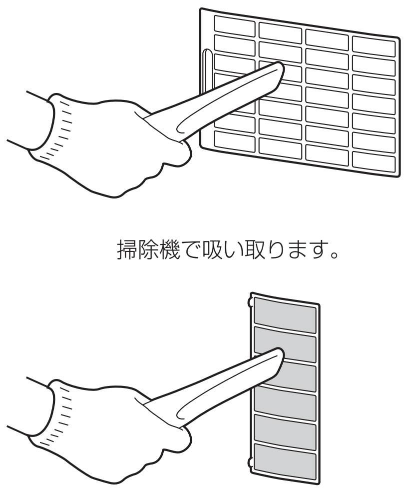
シーズン中は2週間に1回程度掃除してください。

●エアーフィルターカバー、熱交換器フィルターカバーにほこりが溜まりますと、空気の通りが悪くなり、冷風効果が低下します。次の要領で掃除してください。





●強く引っ張らないでください。



本体のお手入れ

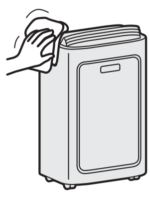
⚠注意	**本機を水洗いしない。** ショート・感電の原因になることがあります。



お願い	●**40℃以上のお湯は使わないでください。** プラスチックが変形することがあります。 ●**次のようなものは使わないでください。** プラスチックをいためますので、ベンジン・シンナー・アルコール・みがき粉、塩素や酵素系洗剤などは使用しないでください。 ●**化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。**

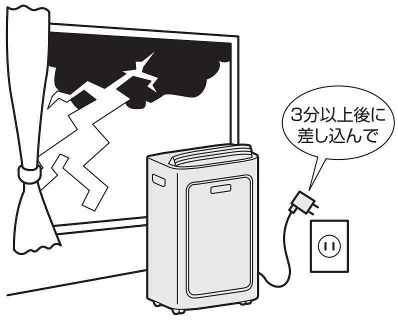
●やわらかい布で、からぶきしてください。

●特に汚れがひどい場合は、ぬるま湯でふきとってください。



知っておいていただきたいこと

使用の時は



●**本機は冷房・暖房機ではありません。**
本機はセパレートエアコン等と構造が異なりますので、簡易的な冷暖房としてご使用ください。
また、同梱の窓パネルと排気ダクトを使用せず、閉め切った部屋で運転しますと室温が上がります。

●**再運転は3分以上待ってください。**
落雷などにより運転動作に異常があった場合は、一旦運転を停止して電源プラグを抜き、3分以上過ぎてからコンセントに差し込み再運転してください。

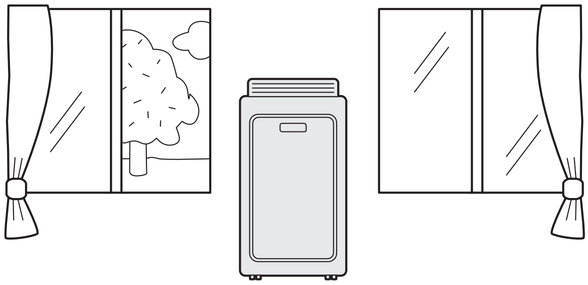
「冷風」「ドライ」運転中

●**室温が16～35℃の範囲でご使用ください。**
指定の温度範囲外でご使用になると、機械の保護機能が働き、運転できないことがあります。
• 使用温度範囲は湿度により変わりますので、目安としてください。

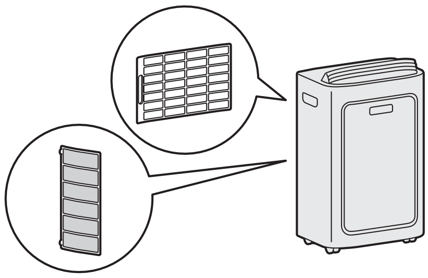
「温風」運転中

●**室温が12～25℃の範囲でご使用ください。**
指定の温度範囲外でご使用になると、機械の保護機能が働き、運転できないことがあります。
• 使用温度範囲は湿度により変わりますので、目安としてください。

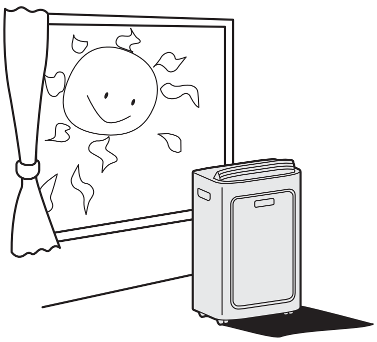
経済的で快適にお使いいただくために



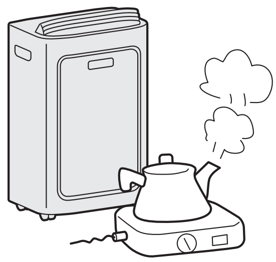
●**排気の処理を適正に。**
付属品の窓パネルセットを使用していただけますと、効果的にお使いいただけます。



●**エアーフィルターカバー、熱交換器フィルターカバーの掃除はこまめに。**
エアーフィルターカバー、熱交換器フィルターカバーが目づまりすると、風量が減り、効果を弱めます。
2週間に1回は掃除をしましょう。



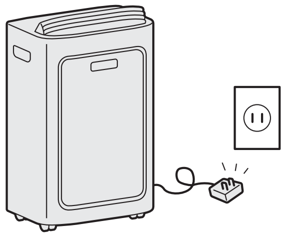
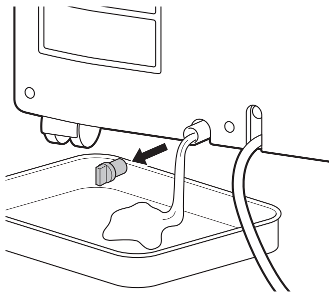
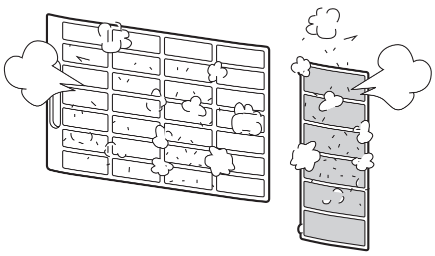
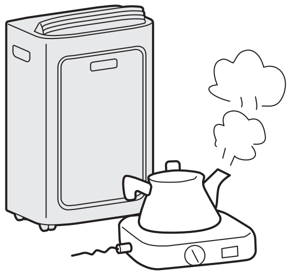
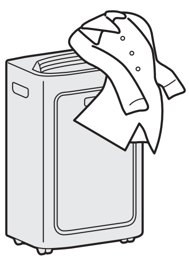
●**直射日光を入れない・当てない（冷風・ドライ運転時）。**
直射日光をカーテンやブラインドでさえぎりましょう。



●**熱の発生は少なく（冷風・ドライ運転時）。**
室内には、できるだけ熱源になるものを置かないでください。

サービスを依頼する前に

故障かな?と思ったら 次のことをお調べください。

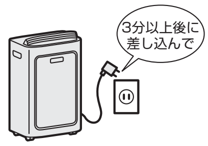
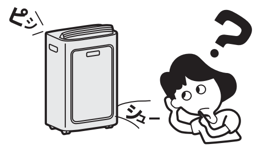
症状	確認箇所	処置方法
まったく運転しない	停電ではありませんか。 ヒューズは切れていませんか。	確認してください。
	電源プラグがコンセントからはずれていませんか。 運転スイッチはON（入）になっていますか。 	電源プラグの差し込みを確認する。
	排水ホースのホースが折れたり曲ったりしていませんか。 本機中のタンクに水が溜っていませんか。 	水を捨ててください。 （容器を用意して頂いて排水してください）
冷えが悪い・暖まりが悪い	フィルターカバーや、熱交換器が汚れていませんか。 	フィルターカバーや熱交換器を掃除する。
	お部屋の中に熱源がありませんか。 （冷風運転時、ドライ運転時） 	熱源を取り除いてください。
	吹出口や給気口･排気口がふさがっていませんか。 排気ダクトの排気口が本機の給気口に向き合っていませんか。 	正常な状態にする。
	電源は交流100Vですか。	コンセントを単独で使用されないと、電圧が低下して能力を発揮しません。

●以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときや下記のような現象が出たときは、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜き、すぐお買い求めの販売店にご連絡ください。

- ブレーカーやヒューズがたびたび切れる。
- スイッチの動作が不確実。
- 誤って内部に異物や水を入れてしまった。
- 電源コードの過熱や、コードの被覆に破れがある。

これは故障ではありません

お願い	**それでも異常があるときは、運転を停止して電源プラグを抜き、お買い求めの販売店にご連絡のうえ修理をお申しつけください。 異常のまま運転を続けると、故障や感電・発熱・火災の原因になります。**

症状	理　由
停止直後に再運転できない。	運転を停止後 3 分間は、再運転をストップして機械を守り、ヒューズ、ブレーカー切れを防ぎます。（マイコンに組込んである3分間保護回路が自動的に働きます）
音がする。	運転中や停止直後に“シュー”という音がすることがあります。 これはユニットの中の冷媒液が流れる音です。
	運転の開始または停止時に“ピシピシ”と音がする場合がありますが、プラスチックの熱膨張、熱収縮による音です。
運転音が大きい。	製品を置く設置面が弱かったり、傾斜したりしていませんか。
	エアーフィルターカバー、熱交換器フィルターカバーが正しく取り付けてありますか。
においがする。	運転中に吹き出す風がにおうことがありますが、これは、ユニットに付いたタバコや化粧品などのにおいです。
電源プラグが少し熱い	使用中は少し熱を帯びます。異常ではありません。
電源プラグが異常に熱い（さわれないほど）	コンセントの差し込みが確実におこなわれていない時や、コンセントに電源プラグを差し込んでもガタつきがあると異常に過熱します。その時は工事業者に依頼してコンセントを交換してください。コンセントを交換しても異常に過熱している場合は販売店に修理依頼をしてください。
満水表示ランプが赤色に点滅する	高湿度条件で運転し、ドレン水が溜まり、処理できない。 製品背面の下側にある排水ドレン栓をはずし水を捨ててください。 （容器を用意していただいて排水してください。）
	排水ホースを取り付けてください。 または排水ホースのホースが折れたり、曲がっていませんか。

定期点検

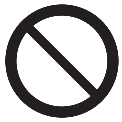
半年～１年に一度、定期点検に次の点検をおこなってください。
もしご不審な点がありましたら、すぐ買い求めの販売店にご連絡ください。

⚠注意

●アースを確実におこなう。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。
アース工事は、電気工事士の資格が必要です。
お買い求めの販売店または専門業者に依頼してください。

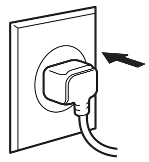

アース

●洗浄スプレーは使用しない。
市販の洗浄剤などを使用しますと、樹脂部品の割れや排水経路の詰まりに至ることがあり、水たれや感電の原因にもなります。


禁止

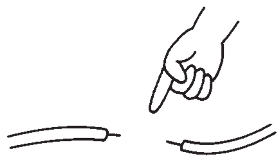
コンセント

電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。
（電源プラグとコンセントの間に“ゆるみ”がないことを確認してください。）
電源プラグ、コンセントにほこりや汚れが付着していませんか。
1箇月に2～3回、電源プラグを抜いて掃除してください。



アース線

アース線がはずれていたり、途中で切れていたりしませんか。
アースを正しくおこなってください。



点検整備

ご使用状態や周囲の環境によっても変わりますが、本機を数シーズン（2～3年）ご使用になりますと、内部が汚れて能力が低下することがありますので、通常のお手入れとは別に、点検整備をおすすめします。
（本機を長持ちさせ、安心してご使用いただけます）
●点検整備には専門技術を必要とします。
　点検整備は、お買い求めの販売店にご相談ください。



保管のしかた

●ドレン水は必ず抜いておいてください。
●容器などで水を受ける準備をしたあと、排水ドレン栓、ゴム栓をはずして下部排水口、排水ホース差し込み口から内部の水を抜いてください。
●晴れた日に半日ほど**「送風」**運転をして、機器の内部を乾燥させてください。
●電源プラグを、コンセントから抜いておいてください。
●掃除をして汚れを落としてください。
●フィルターカバー類を掃除して、取り付けておいてください。
●排気ダクトを取りはずし、本体の排気口をビニールカバーなどでふさぎます。
●リモコンから乾電池を取り出す。
●湿気の少ない、風通しのよい場所に保管します。

仕様

項目＼型式		TAD-22BW
電源		単相100V　50／60Hz
冷風能力	kW	2.0／2.2
温風能力	kW	1.7／1.9
冷風消費電力	W	590／690
温風消費電力	W	600／730
コード長さ	m	2.5
除湿能力	L/日	36／42
外形寸法　高さ	mm	690
外形寸法　幅	mm	440
外形寸法　奥行	mm	320
製品重量	kg	26
冷媒		R410A

ご注意 (1)「／」で示されている値は左側が50Hz、右側が60Hzの値です。
(2)冷風及び除湿特性は、空気条件30℃、相対湿度70%強運転の時の値です。
(3)温風特性は、空気条件20℃、相対湿度60%強運転の時の値です。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】
経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体におこなっています。

【製造年】本体に西暦表示してあります。
【設計上の標準使用期間】9年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)
※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※設計上の標準使用期間は、保証書に記載の無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

●標準的な使用条件　JIS C 9921-3 によります。

環境条件	電圧	単相100V
	周波数	50/60Hz
	冷風室内温度	27℃(乾球温度)
	冷風室内湿度	47%(湿球温度19℃)
	温風室内温度	20℃(乾球温度)
	温風室内湿度	59%(湿球温度15℃)
	設置条件	標準設置

負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋

想定時間	1年間の使用日数	東京モデル 冷風6月2日から9月21日までの112日間 温風10月28日から4月14日までの169日間
	1日の使用時間	冷風:9時間／日　温風:7時間／日
	1年間の使用時間	冷風:1008時間／年 温風:1183時間／年

●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。
●設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、9年より短い期間で経年劣化による火災・けが等の事故に至るおそれがあります。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証について

この商品は保証書付きです。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

●保証期間はお買い求めの日から1年間です。
（ただし、冷凍サイクル部分は3年間です。）

なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により修理いたします。費用など詳しいことは、お買い求めの販売店にご相談ください。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

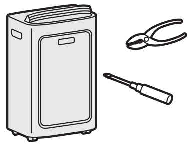
補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後9年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについて

⚠警告

●改造はしない。また修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理・改造をおこなわない。
火災・感電・けがの原因になります。



分解禁止

●修理は、お買い求めの販売店または、P29の お客様相談窓口一覧 に相談する。
ご自分で修理をされ、修理に不備があると、感電・火災等の原因になります。

実施

使用中に異常が生じたときは、直ちに運転を停止して電源プラグを抜き、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
アフターサービスをお申しつけいただくときは、右のことをお知らせください。

型　　式…TAD-22BW
故障状態…できるだけ詳しく
ご芳名・ご住所・電話番号

アフターサービスでお困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合、お買い求めの販売店かP29の **お客様相談窓口一覧** にお問い合わせください。

転居されるときは

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での当社製品取扱店を紹介させていただきます。

お客様相談窓口一覧

製品についてのお問い合わせ、故障修理のお問い合わせはお買い求めの販売店にご連絡ください。
販売店にお問い合わせできない場合は、下記のお客様相談窓口までご連絡ください。
■お客様相談窓口 受付時間：平日（月曜～金曜）：午前9時～午後5時（土・日・祝日は除く）

下記事項にご同意の上、お問い合わせください。
◆お客様からいただく個人情報は、ご相談への回答のために使用し、当社規定により厳格に管理します。
◆利用目的の範囲内で、お客様の個人情報を弊社委託業者、代理店に、お客様の住所、お名前、電話番号などを提供致します。

株式会社 トヨトミ

フリーコール **0120-104-154**

本　社	〒467-0855 名古屋市瑞穂区桃園町5番17号	
	TEL.052-822-1144	FAX.052-822-2742
札幌支店	〒063-0867 札幌市西区八軒7条東5丁目3番8号	
	TEL.011-717-5006	FAX.011-717-5026
仙台支店	〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町7丁目2-40	
	TEL.022-352-8135	FAX.022-352-8481
青森営業所	〒030-0861 青森市長島2丁目14番10号	
	TEL.017-777-7591	FAX.017-773-2805
東京支店	〒111-0051 東京都台東区蔵前2丁目5番3号（筑摩書房ビル8F）	
	TEL.03-5942-6171	FAX.03-5942-6172
前橋営業所	〒371-0847 前橋市大友町2丁目8-1	
	TEL.027-251-8826	FAX.027-252-8224
名古屋支店	〒467-0855 名古屋市瑞穂区桃園町5番13号	
	TEL.052-822-1461	FAX.052-822-1460
大阪支店	〒556-0021 大阪市浪速区幸町3丁目6番15号	
	TEL.06-6562-0351	FAX.06-6562-0361
広島支店	〒733-0833 広島市西区商工センター6丁目4番20号	
	TEL.082-277-2351	FAX.082-277-5990
福岡支店	〒813-0062 福岡市東区松島3丁目13-10	
	TEL.092-611-1974	FAX.092-611-7289
鹿児島営業所	〒899-5433 鹿児島県姶良市西宮島町1-11	
	TEL.0995-66-3131	FAX.0995-66-3181

トヨトミ スポットクーラー&ヒーター 保証書

本保証書は、本書記載内容により無料修理をおこなうことをお約束するものです。
お買い求めの日から下記期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

型式 TAD-22BW　保証期間 お買い求め日より 本体 1年間
冷凍サイクル 3年間

※お買い求め日　　年　　月　　日

※お客様　ご芳名　　様

〒□□□-□□□□

ご住所

〔電　話　（　　）　〕

※販売店名・住所・電話番号

（※印欄に記入がない、あるいは購入・支払いを証明するものがない場合は無効となりますから必ずご確認ください。）

株式会社 トヨトミ
名古屋市瑞穂区桃園町5番17号
〒467-0855　☎052-822-1144

【 無 料 修 理 規 定 】

1. お買い求め日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容により、お買い求めの販売店または当社が無料修理致します。
2. 無料修理をお受けになる場合は、本書あるいは購入日･支払いを証明するものをご提示のうえ、お買い求めの販売店または当社にご依頼ください。。
3. ご転居やご贈答品等でお買い求めの販売店に修理を依頼できない場合は、当社までお問い合わせください。
4. 保証期間内でも、次の場合は有料になります。

（イ）取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従わない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
（ロ）お買い求め後の器具の転倒、落下、衝撃等による故障及び損傷。
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害による故障及び損傷。
（ニ）一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両･船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷。
（ホ）本書のご提示がない場合。
（ヘ）本書にお買い求め年月日･お客様名･販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。通信販売等で購入され、それを証明する商品の送り状･支払明細書の提示がない場合。
（ト）部品の消耗による部品交換及びメンテナンスの費用。

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

●この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い求めの販売店または、最寄りの当社支店･営業所にお問い合わせください。

●保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書の「保証とアフターサービス」の項をご覧ください。

●お客様の個人情報は、当社規定により、厳格に管理します。保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

●冷凍サイクルとは
圧縮機、凝縮器、毛細管、蒸発器および配管で構成された冷媒循環回路のことです。

修理メモ

お客様へ…おぼえのために記入されると便利です。

型　式	TAD-22BW	お買い求め年月日	年　月　日
お買い求め店名	（電話番号）（　　）　－		